

まちづくり
だより

かみてる

NO.63

広報

《発行》
神照地区地域づくり協議会
《事務局》
神照まちづくりセンター
TEL 62-0265
FAX 64-2752
神照地域の人口
(令和2年11月1日現在)
男 9,964人
女 9,905人
合計 19,869人
対前年同月比 +486人

神照地区地域づくり協議会

2020

12/15号

～ かみてるウォーキング ～



神照地区地域づくり協議会では、11月22日（日）澄み渡るような秋晴れの中、『かみてるウォーキング』と銘打って健康ウォーキングを実施しました。

出発前に長浜市歴史遺産課の太田浩司学芸専門監より神照地区の歴史についての講演を約30分お聞きした後、神照地区で一番東に位置する今町を目指して出発しました。

今町には、^{そこひ}底樋と呼ばれる姉川の伏流水を汲み上げる装置があり先人のご苦勞が偲べれます。その他にも多くの石碑などから今町が伝統のある町であることを改めて気づくことができました。

ウォーキングの途中、普段見慣れているはずの神社やお寺、紅葉や野花などの風景もいつもより美しく感じられました。太田学芸専門監も一緒にウォーキングに参加いただき、各箇所でお話をお聞きすることができました。

コロナ禍で何かと気が滅入ってしまう日が多い昨今ですが、みんなで歩くことで体力的にもまたメンタル的にも充実した一日になったと思います。

来年も「かみてるウォーキング」を通じて、私たちが住む神照地区の素晴らしさを「再発見！」できればと思います。

～ 青少年育成会議事業 ～ 8月29日 ビー玉ころころ

神照地区の小学生を対象に、コロナ感染防止対策を考え、ホールにて少人数で開催しました。

スタートからゴールまでのビー玉の迷路を作るのですが、みんな同じ道具を使っているのに一つとして同じ物はありません。

アイデアいっぱいの素敵な作品が出来上がりました！



10月10日 交通安全教室

神照駐在所の濱砂さんと大門さんにDVDによる安全な「横断歩道の渡り方」「自転車の乗り方」を神照地区の小学生を対象に指導いただきました。

危険な乗り方が原因の事故の例がたくさんあり、思わず「うわっ！」

等の声が漏れていました。

みなさん交通ルールを守りましょう。



8月27日 ほっぺのひろば

今回は、ピエロ（地元の人形劇サークル）さんによる人形劇。

みんな真剣に見ていました。続いて民生・児童委員の皆さんにもハンドベルを披露していただきました。

涼しげな音色に癒されました(^▽^)/

最後はみんなでダンス♪

笑顔でいっぱい楽しい時間になりました。



ほっぺのひろばは、毎月開催しています😊

9月5日 かみてるこども広場

今回も感染症予防対策をしっかりと行って開催されました。

制作では、神照寺さんから頂いた竹を使ってえんぴつ立てを作りました。

みんな真剣にデザインを考え個性あふれる作品が出来上がりました！



遊びでは、ポッチャをしました。初めて体験

する子が多くやり方の説明を聞いた後は、楽しそうに遊んでいました。



かみてるこども広場は、次回令和3年1月23日を予定しています。😊

8/30 防災研修会

神照地区地域づくり協議会主催の「神照地区防災研修会」を神照まちづくりセンターで開催したところ、各自治会より自治会役員や自警団員の方など84名がご参加くださいました。

今年度は、コロナ禍の影響により例年実施しているHUG(避難所運営ゲーム)による研修会は実施せず、長浜市防災危機管理局の安原様より「大地震・水害への備えと自主防災」について講演をしていただきました。

また、社会福祉協議会ボランティアセンターの浅田様からは【コロナウイルス拡大時の避難行動について】、【ボランティアセンターの役割について】のお話をお聞きました。

今後も地域防災向上のため、みんなで協力していきましょう！



10/3 芋ほり・稲刈り(青少年)



コロナの影響により、密にならないように定員を決め2班に分けて行いました。

今年の5月に植えたさつまいもも稲もコロナに負けじと立派に成長し、こども達の鎌を持つ手もたくましく感じました。

帰りには、収穫したさつまいもとスタッフ手作りのおはぎを持って帰っていただきました。

きっと夕食にはさつまいもが登場したことでしょう。

10/26 社協より学校・園へ 寄贈しました！



神照地区社会福祉協議会では、コロナ禍で頑張るこども達を応援するため神照地区の小中学校・養護学校にマスクケースと消毒液を、また園には衛生的な環境で過ごせるようペーパータオルを寄贈いたしました。

マスクケースは、給食や体育の時間に外したマスクを清潔に保管するものです。

まだ予防生活が続くこども達が元気に過ごしてもらえることを願います。



～長浜市へ要望～



神照地域の住民が安心安全に生活が過ごせるまちづくりを目指して、地域全体に関わる事項や各自治会の個別要望を

神照地区地域づくり協議会と神照連合自治会が長浜市長に要望書を手渡しました。



～ 神照ふるさと紀行 ～

地元の画人①

長浜を代表する明治の画人 なかがわ こうさい 中川 耕齋 ～山階町出身～

神照地域には全国的には有名ではありませんが優れた画家が多くおられたようです。中でも山階荘乾村(現山階町)出身の中川耕齋は京都画壇の岸派4代目・岸竹堂に入門して腕を磨き、花鳥風月画を中心とした写実的画風は高い評価を受けました。四条派や狩野派風の漢画的な作品も多く残っています。

耕齋は、地元で多くの弟子を育てただけでなく神照村村長(明治28年)として神照地域の発展にも大きな功績を残しました。

山水図

長浜城歴史博物館所蔵



現在も中川家の前栽にある【耕齋先生碑】の碑裏の文字はほぼ見えなくなっており、百年の時の流れを感じます。
(右写真)



中川家の前栽にある【耕齋先生碑】の碑裏
碑は耕齋がなくなった約一年後の大正一二年三月に清水節堂、小森竹塘、加納凌雲ら六名が発起人となり建てられた。
碑裏には耕齋辞世の句「散るものと思う心は山さくら ふきくるかぜにまかせ行くらん」とある。
(長浜みくろな一一五号より抜粋)

地元を愛した画人 すぎさわ しゅんがい 杉沢 春厓 安福寺出身(現：下之郷東町)

坂田郡下之郷村安福寺(現：長浜市下之郷東町)出身の杉沢春厓も、江戸後期から明治にかけて湖北長浜で活躍した画人の一人です。

春厓がどのようにして画法を学んだのかは判っていませんが、現存する春厓の作品から、大和絵風から四条派風まで幅広い画風を持っていたことが判ります。長浜曳山の一つ壽山の舞台障子腰襖「石榴小禽図」は春厓の代表作といえるでしょう。

また、生まれ故郷の安福寺(現：下之郷東町)には、今でも山水図・仏画・花鳥画・天神図・大黒天図・夷図、神図、鯉図等の作品が残されています。

壽山舞台障子腰襖【石榴小禽図】

曳山博物館 資料提供

しょうじこしふすま【ぎくろしゅうきんず】

